

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公表番号】特表2004-505940(P2004-505940A)

【公表日】平成16年2月26日(2004.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-008

【出願番号】特願2002-517470(P2002-517470)

【国際特許分類】

C 07 C 255/57	(2006.01)
A 61 K 31/277	(2006.01)
A 61 P 1/08	(2006.01)
A 61 P 3/04	(2006.01)
A 61 P 7/10	(2006.01)
A 61 P 9/12	(2006.01)
A 61 P 13/10	(2006.01)
A 61 P 17/00	(2006.01)
A 61 P 19/02	(2006.01)
A 61 P 25/00	(2006.01)
A 61 P 25/02	(2006.01)
A 61 P 25/06	(2006.01)
A 61 P 25/14	(2006.01)
A 61 P 25/18	(2006.01)
A 61 P 25/20	(2006.01)
A 61 P 25/22	(2006.01)
A 61 P 25/24	(2006.01)
A 61 P 25/28	(2006.01)
A 61 P 25/30	(2006.01)
A 61 P 27/16	(2006.01)
A 61 P 29/00	(2006.01)
A 61 P 29/02	(2006.01)
A 61 P 35/00	(2006.01)
A 61 P 37/08	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
C 07 C 233/78	(2006.01)

【F I】

C 07 C 255/57	
A 61 K 31/277	
A 61 P 1/08	
A 61 P 3/04	
A 61 P 7/10	
A 61 P 9/12	
A 61 P 13/10	
A 61 P 17/00	
A 61 P 19/02	
A 61 P 25/00	1 0 1
A 61 P 25/02	1 0 3
A 61 P 25/06	
A 61 P 25/14	
A 61 P 25/18	

A 6 1 P 25/20
 A 6 1 P 25/22
 A 6 1 P 25/24
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 25/30
 A 6 1 P 27/16
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 29/00 1 0 1
 A 6 1 P 29/02
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 37/08
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 C 0 7 C 233/78
 C 0 7 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月11日(2008.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

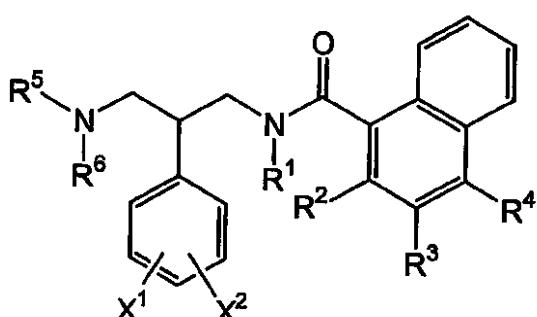
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記式を有する化合物および医薬として許容できるその塩。

【化1】



式中、

R¹はHまたはC₁₋₃であり；R²はH、ハロゲン、-OR⁷またはC₁₋₄アルキルであり；

R³はH、ハロゲン、-OR⁷または-CNであり；

R⁴はH、ハロゲン、-OR⁷またはC₁₋₄アルキルであり；R⁵はH、C₁₋₈アルキル、-C(=O)R⁹、-C(=O)OR⁸、-C(=O)N(R⁶)R⁸、-S(=O)_nR⁹、シアノグアニジノまたはC₁₋₄アシリグアニジノであり；R⁶は、各々の場合に独立して、HまたはC₁₋₆アルキルであり；R⁷は、各々の場合に独立してC₁₋₆アルキルであり；R⁸はH、-OHおよび-NHR⁶から選択される0、1もしくは2つの置換基により置換されたC₁₋₆アルキル、または1、2、3もしくは4つのハロゲン原子により置換されたC₁₋₃アルキルであり；R⁹は、各々の場合に独立して、-OHおよび-NHR⁶から選択される0、1もしくは2つの置換基により置換されたC₁₋₆アルキル、または1、2、3もしくは4つのハロゲン原子により置換されたC₁₋₃アルキルであり；

nは0、1または2であり；さらに、

X¹およびX²は、独立してH、-CH₃、またはハロゲンである。

【請求項2】 X¹およびX²がHまたはハロゲンであり、さらにX¹およびX²の少なくとも1つがハロゲンである請求項1に記載の化合物。

【請求項3】 R²が-O-R⁷またはC₁₋₄アルキルである請求項1または2に記載の化合物。

【請求項4】 R³が-CNである請求項1~3のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項5】 R⁴がHまたはC₁₋₄アルキルである請求項1~3のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項6】 大うつ病、重篤な不安症、ストレス障害、不安を伴う大うつ病、摂食障害、双極性障害、物質乱用障害、精神分裂病、精神病、運動障害、認識障害、抑うつおよび/または不安、躁病または軽躁病、攻撃性行動、肥満、嘔吐、慢性間接リウマチ、アルツハイマー病、癌、浮腫、アレルギー性鼻炎、炎症、痛み、胃腸過度動作、ハンチントン病、COPD、高血圧、片頭痛、膀胱過度動作、またはじんま疹を治療するための医薬の製造における、NK₁拮抗物質としての請求項1~5のいずれか1項に記載の化合物の使用。

【請求項7】 大うつ病、重篤な不安症、ストレス障害、不安を伴う大うつ病、摂食障害、双極性障害、物質乱用障害、精神分裂病、精神病、運動障害、認識障害、抑うつおよび/または不安、躁病または軽躁病、攻撃性行動、肥満、嘔吐、慢性間接リウマチ、アルツハイマー病、癌、浮腫、アレルギー性鼻炎、炎症、痛み、胃腸過度動作、ハンチントン病、COPD、高血圧、片頭痛、膀胱過度動作、またはじんま疹から選択される疾患の治療用医薬の製造のための、請求項1~5のいずれか1項に記載の化合物の使用。

【請求項8】 請求項1~5のいずれか1項に記載の化合物の治療的に有効な量および医薬として許容できる担体または希釈剤を含む医薬組成物。